



土浦平和の会

ニュースNO・103 2007年4月

発行 土浦平和の会
事務局 土浦市神立町2664-2
TEL 31-9122

教科書採択請願・陳情 採択 !! 土浦市議会

新しい歴史教科書をつくる会の「道徳教育の強化と教科書の採択に関する請願」に対置して、土浦市3月議会に提出された土浦革新懇、新婦人土浦支部の請願、ポッポの会、土浦平和の会の陳情が文教厚生委員会において、5対0の満場一致で採択されました。

つくる会の請願は継続審議となりましたが、4団体の請願・陳情が採択されたことにより、事実上不採択になると考えられます。裏面に陳情書の全文を掲載しましたので、内容を確認してください。



百里民間航空機共用化問題で

国土交通省・防衛庁に申し入れ(3/26)

茨城労連、茨城農民連、新婦人茨城県本部、茨城県平和委員会、日本共産党茨城県委員会の5団体は3月26日(月)国土交通省と防衛庁に対して「百里基地軍民共用化の中止」を求める申し入れと質問状を提出して、担当課と交渉を行いました。参加者は共産党矢島衆議院議員、県議3名、小川町議員を含めて13名。平和委員会からは松原、山口、井上が参加しました。

国土交通省の回答要旨は1)支障が出ない範囲で共用をお願いする立場であり、基地機能の縮小については求める立場ではない。2)滑走路の間隔210メートルについては、国内に前例はないが、国連の国際民航機関で認めているので問題はない。3)並行誘導路は1日30便程度なら無くても支障はない。4)現滑走路の耐用年数は防衛庁管理なのでわからない、嵩上げ費用はこれから設計を行うのでわからない。5)環境アセスは民航機に関する調査が目的であり、手続きに入りたい。自衛隊機の調査は茨城県が行っているのでやらない。(県の調査でも公害防止法の基準を超えている)6)利用予測については、共用化が実現する段階で民間の計画が明らかになってくるはず。7)空域を3,500メートル以下で西側に広げたい

防衛庁の回答は1)基地機能に支障がでないように新滑走路の要求は出している。2)新滑走路上の弾薬庫の移転は国土交通省と協議をする。基地外への移転は好ましいことではないが、それも含めて検討している。3)基地の管制業務は国土交通省の基準にそってやるので、危険はない。4)精密侵入設備が現滑走路しかないので、民間機が現滑走路を使う場合がある。嵩上げは必要。5)騒音調査が必要な状況になれば行う。苦情の処理は防衛施設庁の担当。(近くに小学校の移転が予定されている)

文責 井上

行事ごよみ

- 3・3 土浦革新懇総会(1中地区公民館)
- 3・16 平和の会理事会(1中地区公民館)
- 3・22 ポッポの会百里基地見学
(ガイド 百里川井さん、梅澤議員)
- 3・24 県平和委員会理事会(水戸市民会館)
- 3・26 防衛庁・国土交通省交渉
- 4・24 沖縄連帯平和キャラバン茨城県入り
(土浦駅西口2時30分~3時)
- 4・28 県平和委員会大会(赤塚駅社会福祉会館)

新会員紹介(H12年度)

- 田辺綾子さん(乙戸南)
- 小澤泰子さん(乙戸南)
- 平戸治夫さん(荒川沖)
- 柳田まり子さん(神立中央)
- 前川 吉さん(霞ヶ浦町)

- 5・3 憲法を守る市民のつどい
- 5・12 土浦平和の会総会(1中地区公民館予定)